



昭和8年(1933)に、
建設中の御堂筋と平野町通りの角に誕生したガスビルは、
モダンシティー大阪のひとつのシンボルにもなった

B5変型判
オールカラー107頁

booklet

モダンシティー大阪の欧風料理店—— 『ガスビル食堂物語』を発行



大正時代から昭和の初期にかけて、日本の都市ではモダンイズム文化が花開いた。その中で、大阪では市民の手による独自性豊かなモダンイズムが発現した。昭和八年に誕生したガスビルも、その中心となった建物のひとつである。

大阪ガスの本社ビルとして、ガスビルでは当時最新のガス器具を展示し、ガスが開くモダンでハイカラな近代都市生活を広く一般に紹介した。その一方、開館以来、多彩な施設を市民に開放し、多くの人々が集まる文化センター的な役割も果たしてきた。例えば、演奏会や映画上映が盛んに行われたガスビル講演場、一度に一〇〇人が受講できた料理講習室、最新機器を備えた美容室に理髪場、そして洒落た喫茶室に本格欧風料理を供したガスビル食堂など。これらがひとつの建物に組み込まれたガスビルは、いわば、小さなモダンシティーでもあった。

この本では、近代大阪の名建築に数えられるガスビルの誕生から現在までの流れを追い、その八階にあつて多くの市民に親しまれたガスビル食堂のにぎわいを紹介している。多数の写真・資料とともに、ガスビルやガスビル食堂に思い出を持つさまざまな人々のエッセイや対談、より広い視点からの研究者の論考などをつないでいく構成で、モダンシティー大阪を彩った芸術家たちの活動や西洋文化の香りを伝えた外国映画の世界、そして近代女性の姿やファッションの変遷などの内容も含む。

今から七〇年前、御堂筋や地下鉄とともに誕生したガスビルは現在もオフィスビルとして現役。この本の頁をめくっていくと、歴史的建造物の再生・活用といった今日的なテーマにも、自ずと思いが及んでいく。

主な内容と執筆者

モダンシティー大阪への誘い・橋爪紳也

第一章 昭和の初め ガスビルご案内

近代大阪のシンボル御堂筋とともに誕生したガスビル
エッセイ他 朝比奈隆 / 淀川長治 / 大谷晃一 / 伊丹三樹彦

第二章 ガスビル食堂のにぎわい

モダンシティー大阪の本格欧風料理店

エッセイ他 奥村彪生・朝比奈千足 / 巽 悟朗 / 竹本浩三
大阪におけるホテル、レストランのはじまり・堀田暁生

第三章 モダン都市大阪と御堂筋

近代都市大阪への大改造計画 御堂筋ストーリー

船場の洋風建築・石田潤一郎

近代大阪の絵画・橋爪紳也

ガスビルと映画・武部好伸

20世紀モードの軌跡・深井晃子

エッセイ他 肥田晴三 / ドナルド・キーン / 森繁久彌

「道頓堀ジャズ」の時代・古川武志

第四章 時代とともに ガスビル食堂

バラエティー豊かなガスビルの食の楽しみ

エッセイ他 土井信子・藤澤典子 / 藤本義一 / 難波利三 / 佐野正一
ガスと近代都市生活・山下満智子



発行者 大阪ガス株式会社 総務部
頒布価格 1,000円(税込)

この本に関するお問い合わせは KBI 06-6228-3315 まで
※ガスビル食堂でも頒布しています。